

## NEC Express5800シリーズ Express5800/i110Ra-1h

# システム設定の変更

マザーボードの入力システムの設定方法について説明します。

本装置を導入したときやオプションの増設/取り外しをするときはここで説明する内容をよく 理解して、正しく設定してください。

#### BIOSのセットアップ(30ページ)

本装置の基本入出力システムのセットアップをするためのユーティリティ 「SETUP」の使用方法と各種パラメータについて説明します。また、内蔵の CMOSに保存されたSETUPの設定値をクリアするジャンパピンの設定につい ても併せて説明します。

割り込みライン(55ページ) マザーボードの割り込みの設定について説明しています。

# BIOSのセットアップ

Basic Input Output System (BIOS)の設定方法について説明します。

本装置を導入したときやオプションの増設/取り外しをするときはここで説明する内容をよく 理解して、正しく設定してください。

## システムBIOS (SETUP)

SETUPはハードウェアの基本設定をするためのユーティリティツールです。このユーティリ ティは本体内のフラッシュメモリに標準でインストールされているため、専用のユーティリ ティなどがなくても実行できます。

SETUPで設定される内容は、出荷時に最も標準で最適な状態に設定していますのでほとんどの場合においてSETUPを使用する必要はありませんが、この後に説明するような場合など必要に応じて使用してください。

SETUPの操作は、システム管理者(アドミニストレータ)が行ってく 重要 ださい。 SETUPでは、パスワードを設定することができます。パスワードには、 • [Supervisor] と「User」の2つのレベルがあります。[Supervisor] レベルのパスワードでSETUPにアクセスした場合、すべての項目の変 更ができます。「Supervisor」のパスワードが設定されている場合、 「User」レベルのパスワードでは、設定内容を変更できる項目が限られ ます。 OS (オペレーティングシステム) をインストールする前にパスワード を設定しないでください。 SETUPユーティリティは、最新のバージョンがインストールされてい ます。このため設定画面が本書で説明している内容と異なる場合があり ます。設定項目については、オンラインヘルプを参照するか、保守サー ビス会社に問い合わせてください。 SETUP起動した時にはExitメニューまたは<Esc>、<F10>キーで必 ず終了してください。SETUPを起動した状態でパワーオフ、リセット を行った場合にはSETUPの設定が正しく更新されないことがあります。

## 起 動

本体の電源をONにするとディスプレイ装置の画面に「NEC」ロゴと次のメッセージが画面下 に表示されます。

Press TAB to show POST screen, F1 to enter SETUP, <F12> to enter Boot Menu

<TAB> キーを押すと、POST(Power On Self-Test)の実行内容が表示されます。 ここで<F1>キーを押すと、SETUPが起動してMainメニュー画面を表示します。

以前にSETUPを起動してパスワードを設定している場合は、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力してください。

Enter password[

J



## キーと画面の説明

キーボード上の次のキーを使ってSETUPを操作します(キーの機能については、画面下にも 表示されています)。



- □ カーソルキー(↑、↓)
   画面に表示されている項目を選択します。文字の表示が反転している項目が現在選択されています。
- □ カーソルキー (←、→)
   MainやAdvanced、Security、Server、Boot、Exitなどのメニューを選択します。
- <->キー/<+>キー 選択している項目の値(パラメータ)を変更します。サブメニュー(項目の前に 「▶」がついているもの)を選択している場合、このキーは無効です。
- □ <Enter>キー 選択したパラメータの決定を行うときに押します。
- <Esc>キー ひとつ前の画面に戻ります。
- □ <F7>キー
   現在表示している項目のパラメータをデフォルトのパラメータに戻します(出荷時のパラメータと異なる場合があります)。
- □ <F10>キー SETUPの設定内容を保存し、SETUPを終了します。

## 設定例

次にソフトウェアと連携した機能や、システムとして運用するときに必要となる機能の設定例 を示します。

#### 日付・時刻関連

 $[Main] \rightarrow [Time], [Date]$ 

#### UPS関連

#### UPSと電源連動させる

- UPSから電源が供給されたら常に電源をONさせる 「Server」→「AC-Link」→「On」
- POWERスイッチを使ってOFFにしたときは、UPSから電源が供給されても電源を OFFのままにする [Server]→[AC-Link]→[Former-Sts]
- UPSから電源が供給されても電源をOFFのままにする 「Server」→「AC-Link」→「Off」

#### 起動関連

#### 本体に接続している起動デバイスの順番を変える

「Boot」→起動順序を設定する

#### リモートウェイクアップ機能を利用する

LANから:	$ \begin{bmatrix} Advanced \end{bmatrix} \rightarrow \begin{bmatrix} Power Management Setup \end{bmatrix} \\ \rightarrow \begin{bmatrix} Wake Up On LAN \end{bmatrix} \rightarrow \begin{bmatrix} Enabled \end{bmatrix} $
PCIデバイスから:	$ \begin{bmatrix} Advanced \end{bmatrix} \rightarrow \begin{bmatrix} Power Management Setup \end{bmatrix} \\ \rightarrow \begin{bmatrix} Wake Up On LAN \end{bmatrix} \rightarrow \begin{bmatrix} Enabled \end{bmatrix} $

RTCのアラームから: 設定は必要ありません

#### HWコンソール端末から制御する

「Server」→「Console Redirection」→ それぞれの設定をする

#### キーボード関連

#### Numlockを設定する

「Advanced」→「Boot Up NumLock States」/「On」(有効)(default)/「Off」(無効)

#### セキュリティ関連

#### BIOSレベルでのパスワードを設定する

「Security」→「Set Supervisor Password」→ パスワードを入力する 管理者パスワード(Supervisor)、ユーザーパスワード(User)の順に設定します

#### 内蔵デバイス関連

#### 本装置内蔵のPCIデバイスに対する設定をする

「Advanced」→「Integrated Peripherals」→ それぞれのデバイスに対して設定をする

#### PCIボードが持つオプションROMの展開を許可する

「Advanced」→「Integrated Peripherals」→「Onboard Device」→「PCI Slot Device」 →「Option ROM Control」→デバイスに対して設定をする

#### 設定内容のセーブ関連

#### BIOSの設定内容を保存する

「Exit」 → 「Save & Exit Setup」

#### 変更したBIOSの設定を破棄する

[Exit] → [Exit Without Saving]

#### BIOSの設定をデフォルトの設定に戻す(出荷時の設定とは異なる場合があります)

[Exit] → [Load Optimized Defaults]

## パラメータと説明

SETUPには大きく6種類のメニューがあります。

- Mainメニュー
- Advancedメニュー
- Securityメニュー
- Serverメニュー
- Bootメニュー
- Exitメニュー

このメニューの中からサブメニューを選択することによって、さらに詳細な機能の設定ができます。次に画面に表示されるメニュー別に設定できる機能やパラメータ、出荷時の設定を説明をします。

#### Main

SETUPを起動すると、はじめにMainメニューが表示されます。項目の前に「▶」がついているメニューは、選択して<Enter>キーを押すとサブメニューが表示されます。

Phoenix - AwardBIOS Setup Utility				
Main Advanced	Security	Server	Boot	Exit
				Item Help
Date : (mm:dd:yy)	Thu, Jun 2	2005		
iime : (nn:mm:ss)	10 : 36 :	25	Menu	Level 🕨
▶ IDE Channel O Master	EST380013A	.s]	Chan	ge the day, month,
IDE Channel O Slave	ENone]		year	and century.
IDE Channel 1 Master	ENone]		, i	,
IDE Channel 1 Slave	ENone]			
Base Memory	648K			
Extended Memory	514048K			
Total Memory	515872K			
$\uparrow$ ↓ → ←: Move Enter: Select	+/-/PU/PD:Val	ue F10:Save	e ESC:Exi	t F1:General Help
F5:Previous Values	F6:Fail-Safe	Defaults	F7:Optin	nized Defaults

Mainメニューの画面上で設定できる項目とその機能を示します。

項目	パラメータ	説明
Date	mm/dd/yy	日付の設定をします。
Time	hh/mm/ss	時刻の設定をします。
IDE Channel 0 Master	-	それぞれのチャネルに接続されているデバ
IDE Channel 0 Slave		イスの情報をサブメニューで表示します。
IDE Channel 1 Master		一部設定を変更できる項目がありますが、
IDE Channel 1 Slave		出荷時の設定のままにしておいてください。
Base Memory	_	基本メモリの総容量を表示します(表示の
		<i>∂</i> , ) 。
Extended Memory	_	拡張メモリの容量を表示します(表示の
		<i>∂</i> ,) ₀
Total Memory	—	実装しているメモリの容量を表示します
		(表示のみ)。

: 出荷時の設定

■● BIOSのパラメータで時刻や日付の設定が正しく設定されているか必ず確認し 「三要 てください。次の条件に当てはまる場合は、運用の前にシステム時計の確認・ 調整をしてください。

- 装置の輸送後
- 装置の保管後
- 装置の動作を保証する環境条件(温度:10℃~35℃・湿度:20%~
   80%)から外れた条件下で休止状態にした後

システム時計は毎月1回程度の割合で確認してください。また、高い時刻の精 度を要求するようなシステムに組み込む場合は、タイムサーバ(NTPサーバ) などを利用して運用することをお勧めします。 システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合 は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。

### Advanced

カーソルを「Advanced」の位置に移動させると、Advancedメニューが表示されます。 項目の前に「▶」がついているメニューは、選択して<Enter>キーを押すとサブメニューが表示されます。

	Phoen	ix - AwardBIOS	CMOS Setup Uti	ility	
Main	Advanced	Security	Server	Boot	Exit
<ul> <li>Fan Speed Co</li> <li>Advanced Chip</li> <li>Integrated P</li> <li>Power Manage</li> <li>PC Health St</li> <li>CPU Feature</li> <li>Boot Up NumL</li> <li>APIC Mode</li> <li>MPS Version</li> <li>Auto Detect</li> <li>Spread Spect</li> </ul>	ntrol pset Features eripherals mnet Setup atus ock States Control For OS PCI Clk rum	[On] [Enabled] [1.4] [Enabled] [Disabled]		Menu Le	Item Help vel ► k, DRAM timings
↑↓→←:Move E F5:Previ	inter:Select ous Values	+/-/PU/PD:Val F6:Fail-Safe	ue F10:Save Defaults	ESC:Exit F7:Optimize	F1:General Help d Defaults

#### 項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
Fan Speed Control	_	サブメニューを表示します。
Advanced Chipset Features	_	サブメニューを表示します。
Integrated Peripherals	_	サブメニューを表示します。
Power Management Setup	-	サブメニューを表示します。
PC Health Status	_	サブメニューを表示します。
CPU Feature	_	サブメニューを表示します。
Boot Up NumLock Status	Off	システム起動時にNumlockの有効/無効を設
	[On]	定します。
APIC Mode	Disabled	この項目の設定は変更しないでください。
	[Enabled]	
MPS Version Control For	1.1	この項目の設定は変更しないでください。
OS	[1.4]	
Auto Detect PCI Clk	[Enabled]	この項目の設定は変更しないでください。
	Disabled	
Spread Spectrum	[Disabled]	この項目の設定は変更しないでください。
	Enabled	

#### Fan Speed Controlサブメニュー

Advancedメニューで「Fan Speed Control」を選択すると、以下の画面が表示されます。

	Phoen <sup>+</sup> Advanced	ix - AwardBIOS CMOS Setup Uti	lity
ſ	Fan Speed Contro	ol	Item Help
	Normal Fan1/2 Speed Smart CPU Fan Temp. CPU Fan Tolerance Value Smart SYS Fan1 Temp. SYS Fan1 Tolerance Value Smart SYS Fan2 Temp. SYS Fan2 Tolerance Value	CMiddle] [100°C/212 F] [ 5] [60°C/140°F] [ 2] [60°C/140°F] [ 2]	Menu Level ►►
	<pre>↑ ↓ →←:Move Enter:Select E5:Previous Values</pre>	+/-/PU/PD:Value F10:Save	ESC:Exit F1:General Help

項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
Normal Fan1/2 Speed	[Middle]	SYS Fan1/2の通常時の回転数を設定し
	Low	ます。
Smart CPU Fan Temp.	Disabled	CPU温度が設定値以下の場合にCPU
	90℃/194°F	FANの回転数を低速に設定します。
	95℃/203°F	「Disabled」を選択すると常にCPU FAN
	[100°C/212°F]	が最高速で回転します。
CPU Fan Tolerance Value	Min 1	この項目の設定は変更しないでください。
	Max 5	
	Key in a DEC number:[5]	
Smart SYS Fan1 Temp.	Disabled	システム温度が設定値以下の場合にSYS
	50°C/122° F	FAN1の回転数を低速に設定します。
	55℃/131° F	「Disabled」を選択すると常にSYS FAN1
	[60°C/140°F]	が最高速で回転します。
SYS Fan1 Tolerance Value	Min 1	この項目の設定は変更しないでください。
	Max 5	
	Key in a DEC number:[2]	
Smart SYS Fan2 Temp.	Disabled	システム温度が設定値以下の場合にSYS
	50°C/122° F	FAN2の回転数を低速に設定します。
	55℃/131° F	「Disabled」を選択すると常にSYS FAN2
	[60°C/140°F]	が最高速で回転します。
SYS Fan2 Tolerance Value	Min 1	この項目の設定は変更しないでください。
	Max 5	
	Key in a DEC number:[2]	

[ ]: 出荷時の設定

#### Advanced Chipset Featuresサブメニュー

Advancedメニューで「Advanced Chipset Features」を選択すると、以下の画面が表示されます。

Phoen	ix – AwardBIOS CMOS Setup Utili	ty
Advanced		,
Advanced Chipse	t Features	Item Help
DRAM Timing Selectable × CAS Latency Time × DRAM RAS# to CAS# Delay × DRAM RAS# Precharge x Precharge delay (tRAS) × System Memory Frequency	[ <mark>By SPD]</mark> [4] [4] [4] [11] [533MHz]	Menu Level 🕨
†↓→←:Move Enter:Select F5:Previous Values	+/-/PU/PD:Value F10:Save F6:Fail-Safe Defaults F	ESC:Exit F1:General Help 7:Optimized Defaults

#### 項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
DRAM Timing Selectable	Manual	DRAMの信号タイミングをDRAMのスピー
		「と参照して大めるか、マニュアルで大め」
		るがを設定しより。設定を及史しないでく
		122110
CAS Latency Time	5	表示のみ。
	4	
	3	
	Auto	
DRAM RAS# to CAS#	2	表示のみ。
Delay	3	
	4	
	5	
	Auto	
DRAM RAS# Precharge	2	表示のみ。
	3	
	4	
	5	
	Auto	

項目	パラメータ	説明
Precharge delay	Auto	表示のみ。
(tRAS)	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
System Memory Frequency	Auto	表示のみ。
	333MHz	
	400MHz	
	533MHz	

#### Integrated Peripheralsサブメニュー

Advancedメニューで「Integrated Peripherals」を選択すると、以下の画面が表示されます。 項目の前に「▶」がついているメニューは、選択して<Enter>キーを押すとサブメニューが表示されます。

Phoe Advanced	nix — AwardBIOS CMOS Setup Utili	ty
Integra	ted Peripherals	Item Help
▶ OnChip IDE Device ▶ Onboard Device ▶ SuperIO Device		Menu Level ►►
↑↓→←:Move Enter:Select F5:Previous Values	+/-/PU/PD:Value F10:Save F6:Fail-Safe Defaults F	ESC:Exit F1:General Help 7:Optimized Defaults

Advanced - Integrated Peripheralsメニューで「OnChip IDE Device」を選択すると以下の画面が表示されます。

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility Advanced		
0nC	hip IDE Device	Item Help
*** On-Chip Serial ATA On-Chip SerialATA X PATA IDE Mode SATA Port	Setting *** [Auto] Primary P1, P3 is Secondary	Menu Level <b>&gt;&gt;&gt;&gt;</b> EDisabled]: Disabled SATA Controller. EAuto1: Auto arrange by BIOS. ECombined Mode1: PATA and SATA are combined . Max.of 2 IDE drives in each channel. EEnhanced Mode1: Enable both SATA and PATA. Max.of 6 IDE drives are supported. ESATA Only1: SATA is operating in legacy mode.
†↓→←:Move Enter:Sel	ect +/-/PU/PD:Value F10:Sa	ve ESC:Exit F1:General Hel F7:Optimized Defaults

#### 項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
On-Chip Serial ATA	Disabled [Auto] Combined Mode Enhanced Mode SATA Only	SATAコントローラのモードを設定します。
PATA IDE Mode	[Primary] Secondary	Combined Mode設定時、PATAコントロー ラの設定を変更します。
SATA Port	[P1, P3 is Secondary] P0, P2 is Primary	表示のみ

Advanced - Integrated Peripheralsメニューで「Onboard Device」を選択すると以下の画面 が表示されます。

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility					
Advanced					
Onboard	Onboard Device				
Onboard Device         > Planar Ethrenet 1#         > Planar Ethrenet 2#         > Planar Ethrenet 3#         > PCI Slot Device         USB Controller       [Enabled]         USB 2.0 Controller       [Enabled]         USB Keyboard Support       [Disabled]         USB Mounse Support       [Disabled]		Menu Level			
<pre>↑ ↓ →←:Move Enter:Select F5:Previous Values</pre>	+/-/PU/PD:Value F10:Save F6:Fail-Safe Defaults	ESC:Exit F1:General Help			

項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
Planar Ethernet 1#	—	Planar Ethernet 1-3およびPCI Slot Device
Planar Ethernet 2#	-	については、それぞれの項目でコントロー
Planar Ethernet 3#	_	ラおよびOption ROM展開についてEnabled
PCI Slot Device	_	(Default)/Disabledの設定ができます。
USB Controller	[Enabled] Disabled	オンボードUSBコントローラの有効/無効を 設定します。この項目の設定は変更しない でください。
USB 2.0 Controller	[Enabled] Disabled	オンボードUSBコントローラでUSB2.0を サポートさせるかどうかを設定します。 この項目の設定は変更しないでください。
USB Keyboard Support	Enabled [Disabled]	USBを正式にサポートしていないOSでも USBキーボードを使用できるようにするか どうかを設定します。この項目の設定は変 更しないでください。
USB Mouse Support	Enabled [Disabled]	USBを正式にサポートしていないOSでも USBマウスを使用できるようにするかどう かを設定します。この項目の設定は変更し ないでください。

[ ]: 出荷時の設定

Phoen Advanced	nix - AwardBIOS CMOS Setup Ut	ility
SuperIO	Item Help	
Onboard Serial Port 1	Menu Level	
↑↓→←:Move Enter:Select F5:Previous Values	+/-/PU/PD:Value F10:Save F6:Fail-Safe Defaults	ESC:Exit F1:General Help F7:Optimized Defaults

Advanced - Integrated Peripherals メニューで「SuperIO Device」を選択すると以下の画面 が表示されます。

#### 項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
Onboard Serial Port 1	Disabled [3F8/IRQ4] 2F8/IRQ3 3E8/IRQ4 2E8/IRQ3	シリアルポート1(COM 1)ベースアドレス を設定します。
	Auto	

#### Power Management Setupサブメニュー

Advancedメニューで「Power Management Setup」を選択すると、以下の画面が表示されます。

	Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility				
_	Advanced				
L	Power Managemen	Item Help			
	ACPI Function Soft-Off by PWR-BTN Wake Up On LAN Resume by Alarm × Date(of Month) Alarm × Time(hh:mm:ss) Alarm	Menu Level ►►			
	↑↓→←:Move Enter:Select F5:Previous Values	+/-/PU/PD:Value F10:Save F6:Fail-Safe Defaults	ESC:Exit F1:General Help F7:Optimized Defaults		

項目については次の表を参照してください。

■○ 割り込みベースI/Oアドレスが他と重複しないように注意してください。設定 した値が他のリソースで使用されている場合は黄色の「\*」が表示されます。 黄色の「\*」が表示されている項目は設定し直してください。

項目	パラメータ	説明
ACPI Function	[Enabled]	ACPI機能のサポートを設定します。デフォ
	Disabled	ルトの「Enabled」から変更しないでくださ
		い。
Soft-Off by PWR-BTTN	[Instant-Off]	電源ボタンの設定をします。デフォルトの
	Delay 4 Sec.	「Instant-Off」から変更しないでください。
Wake Up On LAN	[Enabled]	PCIカードによるWake機能のサポートを設
	Disabled	定します。
Resume by Alarm	Enabled	設定した日時と時刻でシステムをソフトオ
	[Disabled]	フの状態から復帰させることができます。
Date(of Mouth) Alarm	Х	Resume by AlarmをEnabledに設定した場合
		の日付を設定します。
Tiime(hh:mm:ss) Alarm	XX:XX:XX	Resume by AlarmをEnabledに設定した場合
		の時間を設定します。

[ ]: 出荷時の設定

#### PC Health Statusサブメニュー

Advancedメニューで「PC Health Status」を選択すると、以下の画面が表示されます。 (このメニューは表示のみで変更できません)

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility Advanced					
PC Health	PC Health Status				
CPU Temperature System 1# Temperature System 2# Temperature CPU Fan Speed System 1# Fan Speed System 2# Fan Speed CPU VCORE VCC 3.3 (V) VCC DDR (V) VCC DDR (V) VCC 12 (V) VCC (V) VBAT (V) 5VSB (V)	22°C/ 71°F 34°C/ 93°F 33°C/ 91°F 2596 RPM 0 RPM 1.28V 3.28V 1.79V 1.97V 5.02V 3.15V 5.02V	Menu Level 🕨			
†↓→←:Move Enter:Select F5:Previous Values	+/-/PU/PD:Value F10:Save F6:Fail-Safe Defaults	ESC:Exit F1:General Help F7:Optimized Defaults			

項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
CPU Temperature	—	CPUの温度を表示します。
System 1# Temperature	—	装置内の温度を表示します。
System 2# Temperature	—	
CPU Fan Speed	—	CPUファンのスピードを表示します。
System 1# Fan Speed	—	システムファンのスピードを表示します。
System 2# Fan Speed	—	
CPU VCORE	_	各種電圧を表示します。
VCC 3.3 (V)	_	
VCC DDR (V)	_	
VCC 12 (V)	_	
VCC (V)	_	
VBAT (V)	—	
5VSB (V)	—	

#### CPU Featureサブメニュー

Advancedメニューで「CPU Feature」を選択すると、以下の画面が表示されます。

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility				
Advanced				
CPU Feat	Item Help			
Delay Prior to Thermal Thermal Management TM2 Bus Ratio TM2 Bus VID Execute Disable Bit	E <mark>16 Min</mark> ] Thermal Monitor 1 EDisabled]	Menu Level ►►		
	+/-/PU/PD:Value F10:Save F6:Fail-Safe Defaults F	ESC:Exit F1:General Help 7:Ontimized Defaults		

項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
Delay Prior to Thermal	40 Min	この項目の設定は変更しないでください。
	8 Min	
	[16 Min]	
	32 Min	
Thermal Management	[Thermal Monitor 1]	この項目の設定は変更しないでください。
	[Thermal Monitor 2	
TM2 Bus Ratio	表示のみ	CPUのクロック倍率を表示します。
TM2 Bus VID	表示のみ	CPUのコア電圧を表示します。
Execute Disable Bit	[Disabled]	「Enabled」に設定するとWindows OSの
	Enabled	DEP機能が利用可能になります。

### Security

カーソルを「Security」の位置に移動させると、Securityメニューが表示されます。

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility						
Main	Advanced	Security	Server	Boo	ot Exi	t
Set Super Set User I Security (	visor Password Password Option	[Setup]		-	Item Menu Level Change/Set/D Password	Help ▶ isable
†↓→←:Move F5:Pr	Enter:Select evious Values	+/- /PU/PD: F6:Fail-Sa	Value F10:Save fe Defaults	ESC:E F7:Opt	xit F1:Gener imized Defaul	al Help ts

Set Supervisor PasswordまたはSet User Passwordのどちらかで<Enter>キーを押すとパ スワードの登録/変更画面が表示されます。 ここでパスワードの設定を行います。

> 「User Password」は、「Supervisor Password」を設定していない と設定できません。
>  OSのインストール前にパスワードを設定しないでください。
>  パスワードを忘れてしまった場合は、お買い求めの販売店または保守 サービス会社にお問い合わせください。

#### 各項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
Set Supervisor Password	8文字までの英数字	Supervisor Passwordを設定します。
Set User Password	8文字までの英数字	User Passwordを設定します。
Security Option	[Setup] System	パスワードを入力する画面を設定します。 「SETUP」を選択するとBIOSセットアップ 起動時に「System」を選択するとシステム 起動時とBIOSセットアップ起動時にパス ワードの入力を要求します。

[ ]: 出荷時の設定

#### Server

カーソルを「Server」の位置に移動させると、Serverメニューが表示されます。

Phoen	ix - AwardBIOS	CMOS Setup	Utility	
Main Advanced	Security	Server	Boot	Exit
<ul> <li>System Summary Console Redirection</li> <li>x Baud Rate Agent Connect via Agent after boot AC-LINK Halt On</li> </ul>	[Disabled] 19200 NULL [1] [Disabled] [Off] [All Errors]		Mer Se sec	Item Help nu Level ► Lect this line to e the System Summary.
↑↓→←:Move Enter:Select F5:Previous Values	+/-/PU/PD:Va F6:Fail-Safe	lue F10:Sav e Defaults	e ESC:E F7:Opt	xit F1:General Help imized Defaults

Serverメニューで設定できる項目とその機能を示します。 項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
System Summary	_	System Summaryサブメニューを表示しま す。
Console Redirection	[Disabled] Enabled	Console Redirectionの有効/無効を設定しま す。
Baud Rate	9600 [19200] 38400 57600 11520	接続するハードウェアコンソールとのイン タフェースに使用するボーレートを設定し ます。
Agent Connect via	NULL	表示のみです。
Agent wait time(min)	[1] 2 4 8	リモート接続時、キー入力を停止してから 接続を切断するまでの時間を設定します。
Agent after boot	[Disabled] Enabled	POST通過後もConsole Redirection機能を 有効にするかどうかを設定します。
AC-LINK	[Off] On Formaer-Sts	ACリンク機能を設定します。AC電源が再度 供給されたときのシステムの電源の状態を 設定します(下記参照)。
Halt On	[All Errors] No Errors All , But Keyboard	POST実行中、ハードウェアエラーが発生し た際にPOSTを停止するかどうかを設定しま す。「All, But Keyboard」はKeyboardに関 連したエラー以外が起きたときに停止しま す。

「AC-Link」の設定と本装置のAC電源がOFFになってから再度電源が供給されたときの動作を次の表に示します。

	設定				
AC電源の下の前の状態	Off	Former-Sts	On		
動作中	Off	On	On		
停止中(DC電源もOffのとき)	Off	Off	On		
強制電源OFF*	Off	Off	On		

\* POWERスイッチを4秒以上押し続ける操作です。強制的に電源をOFFにします。



無停電電源装置 (UPS)を利用して自動運転を行う場合は「AC-LINK」の設定を「On」にしてください。

#### System Summaryサブメニュー

Serverメニューで「System Summary」を選択し、<Enter>キーを押すと、以下の画面が表示されます。

(このメニューは表示のみで変更できません)

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility					
	Server				
System Sum	mary	Item Help			
Processor Processor Cache size Processor Speed System Memory Type Video Controller Video Memory Mouse BIOS Version BIOS Date	Intel(R) Pentium(R) 2 MB 2.0 GHz DDR2 RAM Intel(r)915GM/9 Inc. 7872 KB Installed V1.40 Dec 7, 2005	Menu Level ►►►			
↑↓→:Move Enter:Select F5:Previous Values	+/-/PU/PD:Value F10:Save F6:Fail-Safe Defaults	ESC:Exit F1:General Help F7:Optimized Defaults			

項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
Processor	—	搭載しているCPUを表示します。
Processor Cache size	_	搭載しているCPUのキャッシュサイズを表
		示します。
Processor Speed	_	搭載しているCPUのスピードを表示します。
System Memory Type	—	システムメモリの種類を表示します。
Video Controller	—	オンボードのVideoコントローラの名称を表
		示します。
Video Memory	_	オンボードのVideoメモリの使用量を表示し
		ます。
Mouse	—	マウスの実装状態を表示します。
BIOS Version	_	BIOSパージョンを表示します。
BIOS Date	_	BIOSの作成日を表示します。

#### Boot

カーソルを「Boot」の位置に移動させると、起動順位を設定するBootメニューが表示されます。Bootメニューのそれぞれの項目を選択後、<Enter>キーを押してサブメニューを表示させてから設定します。

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility					
Main	Advanced	Security	Server	Boot	Exit
Removable I Hard Disk I First Boot Second Boo Third Boot Boot Other	Device Priority Boot Priority Device Device Device Device	ECDROM] ERemovable] EHard Disk] EEnabled]		Mer Sel Dev	Item Help hu Level ► Lect Removable Boot vice Priority
† ↓→←:Move F5:Pr	Enter:Select evious Values	+/-/PU/PD:Val F6:Fail-Safe	ue F10:Save Defaults	ESC:E	xit F1:General Help imized Defaults

システムは起動時にこのメニューで設定した順番に機器をサーチし、起動ソフトウェアを見つけるとそのソフトウェアで起動します。〈↑〉キー/〈↓〉キー、〈+〉キー/〈→〉キーでプートデバイスの優先順位を変更できます。各機器の位置へ〈↑〉キー/〈↓〉キーで移動させ、 〈+〉キー/〈→〉キーで優先順位を変更できます。

#### Removable Device Priorityサブメニュー

システムに接続されているリムーバブルデバイスの中から起動させるデバイスを選択します。<↑>キー/<↓>キーでデバイスを選択します。

項目		明
システムに接続されている	リストから1つを選択します。	
ます		

#### Hard Disk Boot Priorityサブメニュー

システムに接続されているハードディスクドライブの中から起動させるデバイスを選択しま す。

<↑>キー/<↓>キーでデバイスを選択します。

項目	項目
システムに接続されている デバイスをリストアップし ます	リストから1つを選択します。

#### Exit

カーソルを「Exit」の位置に移動させると、Exitメニューが表示されます。

	Phoe	nix — AwardBIO	S CMOS Setup U	Utility		
Main	Advanced	Security	Server	Boot	Exit	
Load Fail-S Load Optim Save & Exit Exit Withou	Safe Defaults ized Defaults t Setup ut Saving			Men Loa Def	Item Hel	p
†↓→←:Move F5:Pr	Enter:Select	+/-/PU/PD:V F6:Fail-Sa	alue F10:Save fe Defaults	ESC:Ex F7:Opti	kit F1:Gen imized Defaul	eral Help ts

このメニューの各オプションについて以下に説明します。

#### Load Fail-Safe Defaults

SETUPのすべての項目についてフェイルセーフ設定にするときに、この項目を選択します。 Load Fail-Safe Defaultsを選択すると、確認画面が表示されます。ここで、「Yes」を選択す るとフェイルセーフ設定になり、Exitメニューに戻ります。「No」を選択するとExitメニュー に戻ります。

#### Load Optimized Defaults

SETUPのすべての値をデフォルト値に戻したいときに、この項目を選択します。 Load Optimized Defaultsを選択すると、確認画面が表示されます。ここで、「Yes」を選択す るとSETUPのすべての値をデフォルト値に戻してExitメニューに戻ります。「No」を選択する とExitメニューに戻ります。

#### Save & Exit Setup

新たに選択した内容をCMOSメモリ(不揮発性メモリ)内に保存してSETUPを終わらせる時 に、この項目を選択します。Save & Exit Setupを選択すると、確認画面が表示されます。 ここで、「No」を選ぶと新たに選択した内容をCMOSメモリ(不揮発性メモリ)内に保存して SETUPを終了し、自動的にシステムを再起動します。



#### Exit without Saving

新たに選択した内容をCMOSメモリ(不揮発性メモリ)内に保存しないでSETUPを終わらせたい時に、この項目を選択します。ここで、「No」を選択すると、変更した内容をCMOSメモリ内に保存しないでSETUPを終了し、自動的にシステムを再起動します。

## CMOSメモリ・パスワードのクリア

本装置が持つセットアップユーティリティ「SETUP」では、本装置内部のデータを第三者から保護するために独自のパスワードを設定することができます。

万一、パスワードを忘れてしまったときなどは、ここで説明する方法でパスワードをクリアす ることができます。

また、本装置のCMOSメモリに保存されている内容のクリアも同時に行います。



パスワード/CMOSメモリのクリアはマザーボード上のコンフィグレーションジャンパスイッ チを操作して行います。ジャンパスイッチは下図の位置にあります。







- 1. 80ページを参照して準備をする。
- 2. 本体をラックから引き出す(22ページ参照)。
- 3. トップカバーを取り外す(82ページ参照)。
- 4. クリアしたい機能のジャンパスイッチの位置を確認する。
- 5. ジャンパスイッチの設定を変更する。

前ページの図を参照してください。

- 6. 5秒ほど待って元の位置に戻す。
- 7. 取り外した部品を元に組み立てる。
- 8. 電源コードを接続して本体の電源をONにする。
- <F1>キーを押してBIOS SETUPユーティリティを起動し、Exitメニューから 「Load Optimized Defaults」を実行する。

# 割り込みライン

割り込みラインは、出荷時に次のように割り当てられています。オプションを増設するときな どに参考にしてください。

IRQ	周辺機器(コントローラ)	IRQ	周辺機器(コントローラ)
0	システムタイマ	11	PCI
1	キーボード	12	マウス
2	_	13	数値演算プロセッサ
3	—	14	プライマリIDE
4	COM 1シリアルポート	15	セカンダリIDE
5	PCI	16	USB、LAN1、VGA
6	フロッピーディスク	17	LAN2
7	PCI	18	USB
8	リアルタイムクロック	19	USB
9	ACPI Compliant System	20	LAN3
10	PCI	23	USB2.0

У Е